

平成 25 年度第 1 回 海岸工学委員会幹事会議事録

開催日時：平成 25 年 9 月 30 日(月) 14:00～16:50

開催場所：土木学会 2 階 A 会議室（東京都新宿区四谷 1 丁目 外濠公園内）

出席者：以下の 21 名の委員長，副委員長，幹事長，小委員長，副小委員長，委員兼幹事

佐藤委員長，青木副委員長，佐々木幹事長

岡安，重松，藤間，森，渡部の各小委員長，川崎，北野，富田の各副小委員長

栗山，後藤，諏訪，武若，陸田，森屋，八木，山城，横木，小笠原の各委員兼幹事

資料：

- ・平成 25 年度第 1 回海岸工学委員会幹事会の議事（資料 1）
- ・PowerPoint スライド（資料 2）
- ・土木学会 100 周年パンフレット（資料 3）

■審議・報告事項

1. 前回議事録の確認

WEB に公開済み

2. 報告事項（佐々木幹事長）

(1) 委員長指名委員に川崎委員

(2) 委員の派遣について

- ・社会インフラ維持管理・更新の重点課題検討特別委員会に川崎委員を派遣
- ・水工学委員会に八木委員を派遣
- ・環境賞選考委員に上月委員を派遣
- ・出版委員会に陸田委員を派遣

(3) 出版企画の募集についての報告があった。

(4) 土木学会 100 周年記念行事について（佐藤委員長）

- ・津波・高潮水位標識の設置プロジェクトおよび沿岸防災意識の普及促進について，（資料 3）に基づき報告があった。10 月 6 日（日）に，兵庫県南あわじ市にて，同事業の取組みとして津波防災フォーラムが開催される。

3. 海岸工学論文集第 60 巻発刊準備状況について（岡安小委員長）

(1) 最終審査報告

- ・第 1 段審査：登録論文数 403 編，審査通過論文数 303 編
- ・第 2 段審査：通過論文数 297 編（不採択 2 編，辞退 4 編）
- ・第 2 段審査以降（不採択 0 編，辞退 0 編），計 297 編が採択された。

(2) STAGE の作業について

- ・土木学会論文通常号と特別号の BIB 作成業者が異なるが、本年度は、特別号のみ例年と同一業者で行う（作業料金が安い）

- ・早めの校正，組版完了が必要

(3) 国際セッション Proc.について

- ・掲載編数：19 編（投稿数：21 編，不採択：1 編，最終段階で辞退：1 編，講演会プログラムは公開済みのため，講演会時に 1 編辞退のアナウンスを行う）

(4) 論文査読の諸課題

- ・類似のアブストラクトの投稿が見られる．採択数に限りがあるため，2 編の類似のアブストラクトを 1 編にまとめて投稿するように著者に催促するかどうかの判断は，編集小委員長・副小委員長，幹事長，委員長で審議し，その結果を委員会に報告することが了承された．

- ・査読判定について

査読負担の軽減および著者校正のスピードアップのため，今年から B 判定を無くしたことにより，A 判定が大幅に増え，修正の必要な論文が採択扱いとなる不具合が見られた．この結果を踏まえ，論文編集小委員会が 11 月委員会までに査読判定基準を整理し，委員に説明する機会を設けることが了承された．なお，判定を A，B，C，D とし，B 判定の場合には修正対応表を作成し，A 判定と同じ提出期限とする案が提案された．

(5) 著者負担金と論文集価格

- ・著者負担金は 35,000 円，国際セッション著者負担金 20,000 円（いずれも昨年度と同一）

- ・論文集定価：5,000 円

- ・著者負担金の増額要因として，講演会会場費が嵩む場合が考えられる．会場費を抑えられるような場所を選択する必要があるとの意見があった．

(6) 論文編集の検討課題

- ・J-STAGE が近い将来 BIB から XML に移行する予定であり，平成 27 年度の移行を目指し，冊子体の存廃や著者による版下原稿作成の可否等，特集号の課題について具体的に検討する WG を立ち上げることが了承された．

(7) 通常号掲載分の講演会発表枠

- ・希望者はゼロであったことが報告された．

(8) 来年度の編集・出版形態

- ・平成 26 年度は平成 25 年度と同様の形態で編集・出版することが了承された．

4. 海岸工学論文賞および海岸工学論文奨励賞の候補論文について（佐々木幹事長）

- ・選考過程について説明があり，例年通りの選考基準で候補論文を決定したことが報告された．

- ・海岸工学論文賞は 8 編の候補論文からを全文審査により 3 編が選考された．

- ・奨励賞は 7 編の候補論文から全文査読より 3 編が選考された．

5. 第 60 回海岸工学講演会の準備状況について（山城委員兼幹事）

- ・日程：平成 25 年 11 月 13 日（水）～15 日（金）

- ・会場：九州大学医学部百年講堂・小講堂・同窓会館

- ・見学会：11月12日（火）14：00～16：00，博多港見学ツアー：（社）博多港振興協会が実施
（通常2時間程度）博多港国際ターミナル，アイランドシティ（人工島），香椎パークポートコンテナターミナルなど
- ・10月中旬に参加募集のアナウンスを行う。（予定）
- ・前日シンポジウムについて：日時：11月12日（火）17：00～19：20，場所：九州大学医学部百年講堂，
テーマ：巨大津波災害に備えるための国土強靱化の役割
- ・懇親会：11月14日（木）18：30～20：30，ホテルセントラーザ博多 花筐の間，会費7,000円

6. 第61回海岸工学講演会の開催（会場など）について（川崎副小委員長）

- ・日程：平成26年11月12日（水）～14日（金）
- ・会場：ウイングあいち（名古屋駅前 徒歩5分）
- ・見学会：Aコース 名古屋港＋飛島コンテナターミナル
Bコース 藤前干潟または名港トリトン＋輪中の郷＋長良川河口堰（＋なばなの里）
- ・懇親会：11月13日（木），キャッスルプラザ

7. 第62回海岸工学講演会の開催（会場など）について（佐々木幹事長）

- ・準備状況について報告がなされた。

8. Coastal Engineering Journal について（渡部小委員長）

- ・出版と投稿の状況について説明があった。
- ・CEJ Award 及び JAMSTEC 中西賞について報告があった。
- ・合田先生の未発表の論文を Vol.55, No.4 へ記念論文として掲載予定

9. 各小委員会等の活動について

(1) 広報小委員会（森小委員長）

- ・Web 情報およびアウトリーチの充実に関する活動状況の報告があった。
- ・CECOM のメーリングリストが2つ並立しており混乱を招くとの意見があり，整理を検討することとした。

(2) 沿岸域研究連携推進小委員会（重松小委員長）

本委員会が下記の沿環連シンポジウム（案）の主催者の一員になることの提案があり，了承された。

テーマ：流域圏の物質輸送に関する実態評価の現状と課題

日時：平成25年12月11日（水）または12日（木）13：00～17：35（仮）

(3) 地震・津波複合災害の推定手法および対策小委員会（藤間副小委員長）

第60回海岸工学講演会前日シンポジウムの企画について説明があった。なお，CECOM にて開催のアナウンスを行う。

10. 新しい小委員会の設置提案（佐々木幹事長 柿沼委員の代理）

「海の波研究小委員会」の設置提案について，目的，設置期間及び期待される成果の説明があった。基

本的には承認の方向であるが、以下の意見を踏まえた改訂案を準備いただき、再度 11 月の委員会にて審議することとした。

- ・小委員会の名称の具体化、趣旨、期待される成果、および成果の公表方法について要検討。
- ・設置期間の要見直し。
- ・他学会や土木学会他委員会等と連携しながら実施できるテーマで、学際的活動による成果を期待。

11. 水工学（第 49 回）に関する夏期研修会について（北野副小委員長）

- ・ 8 月 26 日（月）～8 月 27 日（火）に名古屋工業大学で開催された研修会について報告があった。
- ・参加者のアンケート結果より、参加者の推移、所属、出身、開催を知った手段、参加理由、申し込みの判断などの報告があった。
- ・学生が参加しやすいような料金設定と開催日を考えた方が良いとの意見があった。

12. 水工学（第 50 回）に関する夏期研修会について（山城委員兼幹事）

研修会の準備状況について報告があった。

開催日：平成 26 年 8 月 25 日（月）～26 日（火）

会場：九州工業大学

テーマ：海岸・港湾に関する観測（と実験の）技術（案）

13. その他

(1) 台湾海洋工学会との連携について（佐々木幹事長）

台湾海洋工学会と土木学会海岸工学委員会（海洋開発委員会も締結を検討）との MOU 案について説明があり、MOU 締結が了承された。

(2) 2013 年 APAC および APAC 委員交代についての報告があった。（佐々木幹事長、佐藤委員長）

9 月に開催された APAC 2013 @Bali の様子について紹介があった。Council Chair に水口相談役、故合田先生の後任の Council メンバーに喜岡相談役、Steering Committee メンバーに佐藤委員長が選任された旨報告があった。2015 年はインド・チェンナイのインド工科大学で開催される。

(3) 和文論文と英文論文の位置づけ（二重投稿）について（岡安小委員長）

委員会（CEJ）としての見解を整理する必要がある。何か意見があれば論文編集小委員長まで報告することとなった。

次回の海岸工学委員会は、11 月 13 日（水）18:00～

記録(小笠原)